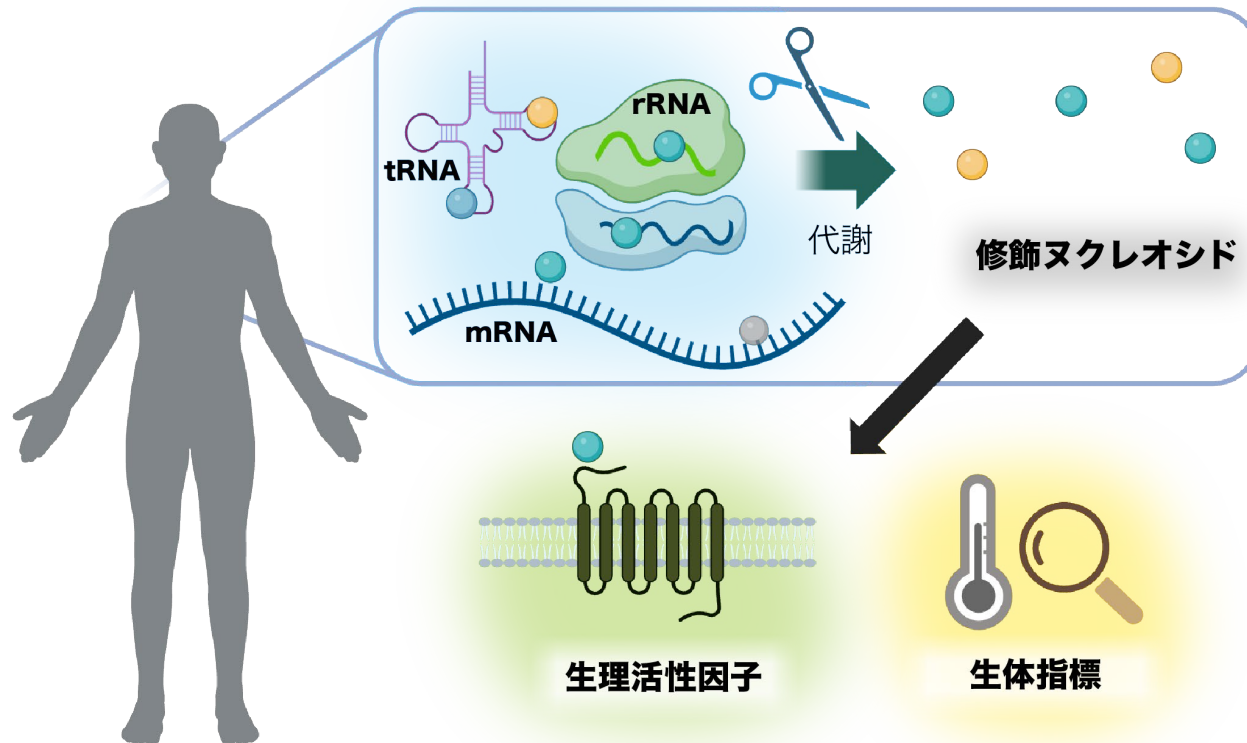


# 修飾ヌクレオシドを基軸とする病態生理学の開拓

小川 亜希子（東北大学大学院 薬学研究科・薬学部）

RNAは、遺伝情報をもとに生命活動を支える重要な分子であり、近年、RNAにメチル基などの化学的な修飾が加わることで、遺伝情報の使われ方が精密に調節されていることが分かってきた。この修飾されたRNAが分解されて生じる「修飾ヌクレオシド」が体内に多く存在し、特別な反応を引き起こすことを発見した。本研究では修飾ヌクレオシドの動態や機能を解明し、生命の仕組みや病気の原因を明らかにしたい。



**RNA 由来の修飾ヌクレオシドを基軸とする病態生理学の開拓**